

ハピネス

～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～

大崎麻子さん講演会 6月25日(日) 沼田市保健福祉センター

演題 「誰もが生きやすい社会とは～世界から見た日本はどんな国?～」

ジェンダーとは、「男性なら～すべき」「女性なら～あるべき」と性別によって人を判断する先入観を指します。ジェンダーの先入観は、他人の多様性のみならず、自分の多様な生き方や考え方も縛ってしまう可能性があります。

今回は、国連で開発の仕事に従事され、途上国で多くのプロジェクトに携わってきた大崎麻子さんから、ジェンダーに敏感な視点の重要性について講演していただきました。

ポイント1：人間開発

国連の開発を専門としている機関である UNDP では、1990 年以降、一人ひとりの人間が、持って生まれた可能性を开花させ、社会の一員として尊厳のある人生を得られるように必要な環境を作ることを目的とする人間開発の考え方が取り入れられるようになりました。

人間開発は、健康、教育、経済、政治や社会への参画の4つの柱があり、特に「政治や社会への参画」は新たな視点で重要とのことでした。

ポイント2：女性とジェンダーの視点

人間開発の考え方が採用されると、女性とジェンダーの視点が重要になってきました。たとえば「教育を受ける機会」において...

グアテマラでは、小学校高学年になるにつれ、女子生徒の数が減っている。なぜなら、

- ・女子の多くが水汲みなど、生活に欠かせないケア労働についている。
- ・インフラ整備や安全性が確保されていない学校のトイレを、月経中の女子生徒は使えず、1週間学校に行けない。そのうち勉強についていけず、退学してしまう。

各国や地域にある性別に基づく障壁、ジェンダーを探り、それを取り除くことが重要です。

ポイント3：少女と女性のエンパワーメント

「教育の機会」のように、女性ゆえの障壁がまだまだ社会にはたくさんあります。誰もが責任を持ち、対等に意思決定に参画していく男女共同参画社会の実現のためには、少女と女性がエンパワーメントしていくことも重要です。

ベトナム山岳地帯の母親たちへの教育(識字教育、衛生・栄養教育など)の実践例を紹介していただきました。



講師 大崎 麻子さん
(開発政策・ジェンダー専門家、
関西学院大学客員教授)

《講演会アンケートより》

・女性自身がしっかり知識を持ち自分の考えを持ち、社会参加をすることが必要。→社会の理解も重要!

・もっと若い世代の男女に多く聞き、考えていただく方法を考えていただきたい。例えば高校生とか。

・誰もが生きやすい社会とは?と考える、感じる事が出来る感性知性を培うためには教育の大切さを感じました。

エンパワーメントって?
あらゆる選択を自分の意思でできるように力をつけること



飛び込むことが第一歩 女性区長誕生！

平成 29 年度、堀廻町に女性区長が誕生しました。多様化する地域の課題には男女がともに持てる力を発揮して取り組むことが必要です。

戸丸区長は、日頃から地域と密接に関わり、細やかな気配りをしながら活動されています。

インタビューからのキーワード ……………

★環境を整えるより飛び込む(実行する)ことが第一歩

- * 夫への区長依頼を、夫の勧めで、区役員経験もなかったが、地域にお世話になっているので自分が引き受けた。
- * 「全戸平等」を旨とする区の活動目標を設定した。

★円滑な活動のために

- * 誰が区長に就任しても区行政ができるために、年間行事予定表や各行事の実施マニュアルを作成したい。

★コミュニケーションが大切

- * 区長は自ら率先して行動し、住民の声を把握するように心掛ける。
- * 仲間内に本音で話し合える、特に同性の相談相手が必要。

★家族(夫・社員など)の理解・協力が欠かせない

- * 区行政について家族などに理解を求め、協力を得ることが欠かせない。

★女性区長を増やすための工夫として

- * 女性登用による区への特典制度の導入を検討する。
- * 一緒に活動できる同性の仲間を複数つくること。

戸丸区長の熱意あるお話に、編集者全員が元気をもらいました。地域ぐるみのご活躍を期待しています。(編集: I・T・Y)

ワンダフルウーマン No.1



堀廻町区長 戸丸則子さん
(夫と猫 1 匹と暮らす・会社役員)



☆区長や自治会役員に女性を積極的に登用することで、自治会に補助金を交付している市があります。(兵庫県小野市・静岡県島田市など)

☆群馬県内の女性自治会長(区長)は 12 人しかおらず、割合は 0.5% で全国最下位です。(平成 28 年度内閣府調査より)

☆沼田市では、これまで平成 22・23 年度に 1 人だけ女性区長がいました。

★ご意見・ご感想をお寄せください★

☆一緒に編集する仲間を募集中です☆

【編集】沼田市男女共同参画実践講座

【発行・連絡先】市役所 生活課 協働推進係

〒378-0053 沼田市東原新町 1801-72

保健福祉センター 2 階 市民活動センター内

TEL/FAX 0278-22-8444

E-mail: numatanchi@ia5.itkeeper.ne.jp

とらいあんぐるん相談室 女性の電話相談室

相談専用電話 ☎ 027-224-5210

相談日時間

火～金曜日 9:00～12:00、13:00～16:00
土・日曜日 9:00～12:00

※月曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は休み
月曜日が祝日の場合、直後の平日も休み

相談内容

- ・自立して能力を発揮したい
- ・夫婦、家族のことで悩んでいる
- ・仕事と家庭生活の両立で悩んでいる など…

どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。専門の相談員がお話をうかがい、あなたの心の重荷が少しでも軽くなるようお手伝いします。

(相談無料、秘密厳守です。)